



中国日本商会

今どきコラムー49

中国雑談

### フォード小型車生産の中国移管

米自動車大手フォード・モーターは6月21日、次世代コンパクトカー「フォーカス」を2019年から中国で生産し、北米に輸出する計画を発表した。フォードのグローバル・オペレーション(商品開発、製造、労務、品質)を担うジョー・ヒンリクス(Joe Hinrichs)氏は、「中国に生産拠点を置くことで、メキシコで生産するより投資コストを10億ドル節減できる。そうすることで、米本土で利益率の高い車種である(ピックアップ)トラックと中型SUVの生産ライン整備に力を入れる余裕が出る」と明らかにした。

実は、フォードのほか、ボルボ、GMなど他の自動車メーカーも、中国において自動車生産ラインを拡張し、アメリカに製品を輸出している。最近のフォードの一連の動向は、ジム・ハケット(Jim Hackett)最高経営責任者(CEO)の就任後の、資本収益性向上のための戦略である。ただし、海外メディアはそれを、「中国の自動車産業が世界においてますます重要な役割を果たすようになったシグナル」として受け取っている。

『ニューヨーク・タイムズ』の報道によると、フォードのこの決定は、今後の中国におけるアメリカへの自動車輸出の潜在力を物語るものである。CNNは、「フォードの声明は、中国の自動車産業が世界においてますます重要な役割を果たすというシグナルのみならず、現在、中国が世界最大の自動車市場であると同時に、自動車生産コストの面においてもかなりの優位性を持っている」と分析している。「これからますます多くの自動車メーカーが中国に工場を建設するようになる。小型車市場の縮小スピードは予想を超えている。中国に生産拠点を置くことは、フォードにとって合理的な選択だ」と自動車アナリストのMichelle Krebs氏は指摘している。

フォードのフォーカス生産ラインは現在、ミシガン州にある。2016年、フォードは安い労働力を視野にメキシコでフォーカスを生産することを決めた。予想外であったのは、今年1月、トランプ大統領がメキシコ計画に強く反対したことである。その結果、計画は取りやめられることになった。



現在、米小型車の販売台数は低迷し続けており、燃料価格の下落が続くことに加え、米消費者の嗜好は燃費が高くても人気の SUV やピックアップトラックに向くようになった。2017 年 1～5 月、米小型自動車の販売台数は前年同期比 11% 下落し、中でもフォーカスの売れ行きが最も深刻で、売上高は 20% も下落した。

一方、トランプ政権は「米国市場向けの自動車をメキシコの工場で生産するのなら、多額の税金を徴収する」という手段で、米自動車メーカーに生産ラインをアメリカからメキシコに移転させないようにした。しかし、米自動車メーカーが生産拠点を中国に移転するやり方には、現在のところアメリカ政府はまだ何も反応していない。

フォードの上記の声明に対し、アメリカのロス商務長官は「フォードの決定は、多国籍企業の地域戦略における柔軟性を見せた」とコメントした。

(『日系企業リーダー必読』編集長 陳言)